

§ 15. 使用上の注意と使用方法

ガス湯沸器〈瞬間式〉

セントラルタイプ

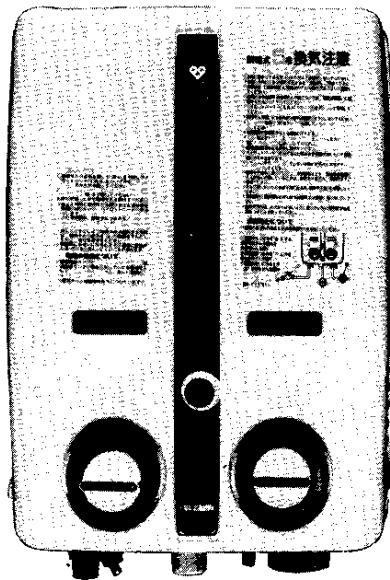
法定型式
S5-6型



大阪ガス

33-801型

取扱説明書



ガス器具をお使いになる時のご注意



ガスゴム管も
ときどき点検を
よいゴム管を
カッチリと…



使用中は
熱くなります
手をふれないで
ください！



空だきには
ご注意ください



ガス器具は
ガスの種類にあった
正しいものを…

●ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

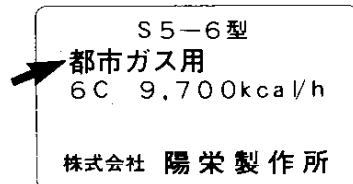
■特に注意していただきたいこと

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

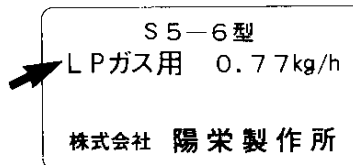
■使用ガスについてのご注意

- ガスの種類を確かめてください。
- ガス器具本体側面にはってある銘板（ラベル）に表示のガスの種類とお宅のガスが一致しているかをまず確かめてください。
- 転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類が一致していることを必ず確かめてください。ガスの種類が一致しないときには、お近くの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社・サービスステーションにご連絡ください。
- ガスの種類には都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。

例、都市ガス用

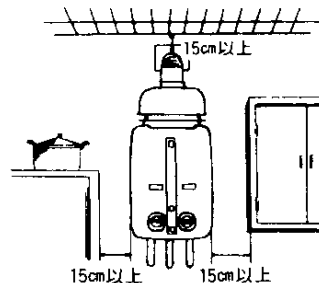
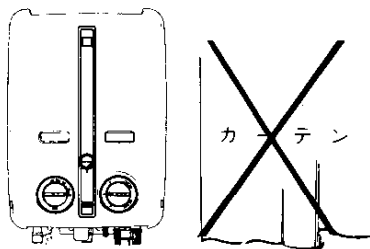
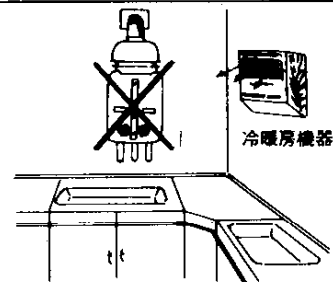


例、LPガス用



■使用場所についてのご注意

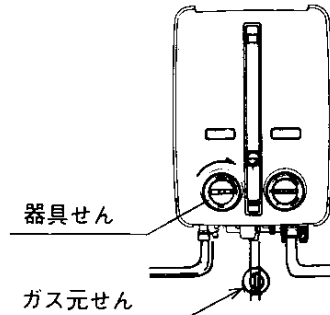
1. 強い風の吹き込む所では使用しないでください。
 - 風で吹き消されることがあります。
2. 冷暖房装置の吹出し口及び吸込口近くでは使用しないでください。
 - 燃焼のさまたげになることがあります。
3. 棚の下など落下物の危険のあるところでは使用しないでください。
4. カーテンや燃えやすいもののそばでは使用しないでください。
5. 家具、壁その他の可燃物から十分離れている場所で使用してください。
詳しくは工事説明書をお読みください。
6. 換気（給気・排気）が十分できるところに設置するか、換気できるようにして使用してください。
7. 湯沸器を設置している部屋で特殊な薬品は使用しないでください。
アンモニア・イオウ・塩素・エチレン化合物・酸類などを使用しますと湯沸器が急速に腐食する原因となります。
8. 湯沸器の下にコンロやレンジなどの燃焼器具を置かないでください。
油分と空気中のほこりなどが、メンバーナーや熱交換器に付着しやすく、不完全燃焼をおこすことがあり、湯沸器の寿命が短くなります。



■使用上のご注意

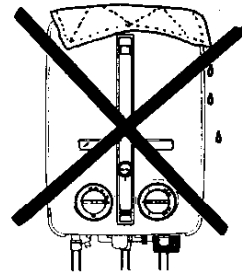
1. ガス漏れ予防

- (1) 使用時の点火・消火のほか使用中には時どき正常に燃焼していることを確かめてください。
- (2) 使用後は必ず器具せんを閉じ、消火したことを確かめてください。
- (3) お出かけやお寝みの際には、ガス元せんも必ず閉めてください。



2. 火災予防

- (1) 湯沸器の上や周囲には燃えやすいものを置かないでください。
- (2) 排気口の上にタオル、ふきんなどをのせないでください。
- (3) 火をつけたまま就寝、外出は、絶対にしないでください。

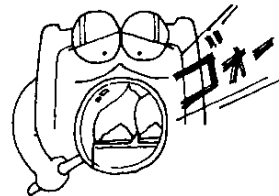


3. 火傷のご注意

使用中及び使用直後は、点火確認窓が高温になっておりますので器具せんつまみ、湯温(湯量)調節つまみ、能力切替つまみ以外に手を触れないでください。

・使用中及び使用直後は器体に手を触れないでください。

4. 点火時や使用中にゴォーと音がし、メインバーナーの内炎と外炎の見分けが付きにくいときは、メインバーナーの内部でガスが燃えていますので、一度火を消してしばらくしてからもう一度点火してください。



5. 混合水栓又はシャワーを使用中は他の給湯せんとの同時使用は湯温の急激な変化が occurs ますので、同時使用はしないでください。

6. 換気のご注意

- (1) ガスの完全燃焼には多量の新鮮な空気が必要です。換気が悪いと不完全燃焼をおこし、衛生上、保安上よくありません。又換気口は冬期寒くなっても閉めないでください。(酸欠状態になります)必ず煙突を取りつけるか、入れ忘れ対策付き換気扇連動スイッチ(95-210型)を取り付けて、お部屋の空気を入れ換えてください。

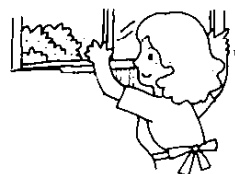


しめないで
ください

- (2) お部屋の換気口(給気口・排気口)は常に確保し、物などでふさがないでください。

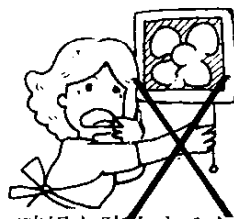
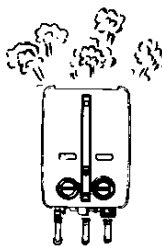
7. ガス事故防止

(1) ガス漏れに気づいたときは、すぐ使用をやめてガス元せんを閉じ、窓や戸を全部あけて、ガスを外へ出してからお買求めの大阪ガスサービスショップもしくは大阪ガス支社・サービスステーションにご相談ください。



(2) 万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり換気扇その他電気器具にふれ（スイッチの入・切や電源プラグの抜き差し等）たりしないこと。

- 火や火花で引火し爆発事故を起すことがあります。



8. 凍結についてのご注意

冬期に器具内の水が凍るおそれのあるときは、凍結による器具の破損を防止するため、水抜きを必ず行なってください。詳しくは9ページをお読みください。

9. 異常時の処理

万一異常燃焼を起したときや、緊急の場合、あわてず器具せんとガス元せんを閉じて消火してください。

10. 飲料用、調理用としてお使いのとき

器内に長時間たまっていた水は飲用または調理に用いないでください。

11. 最低作動水圧について

この湯沸器は最大水量のときに0.45kg/cm²以上の水圧がいります。ご使用中でも水圧が0.45kg/cm²以下にさがるとメーンバーナーは消火しますが故障ではありません。なお、作動水圧は湯沸器を作動させるだけの必要な水圧であり、給水配管や給湯配管の抵抗は含まれていません。

12. ガスはしぼらずにお使いください。ガスつまみは途中止めず「止」「点火」「開」の位置で操作してください。

13. 前板の汚れは、やわらかい布に台所用中性洗剤をつけてふきとってください。

金属たわし、スポンジたわし、みがき粉、シンナー、ベンジンなどを使用しますと、キズがついたり、はげたりします。

■ 日常の点検、お手入れ

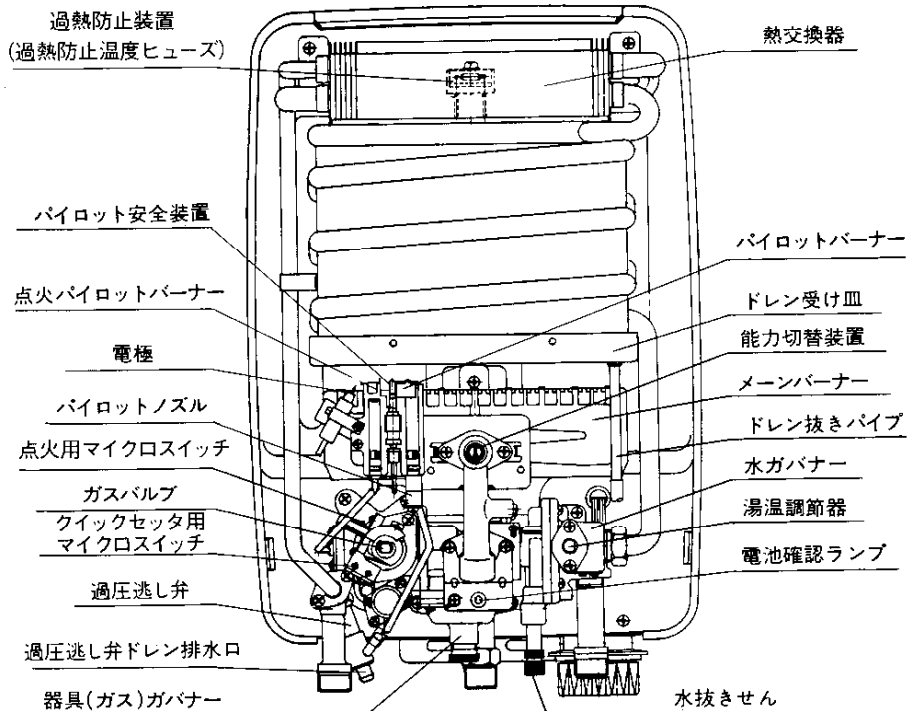
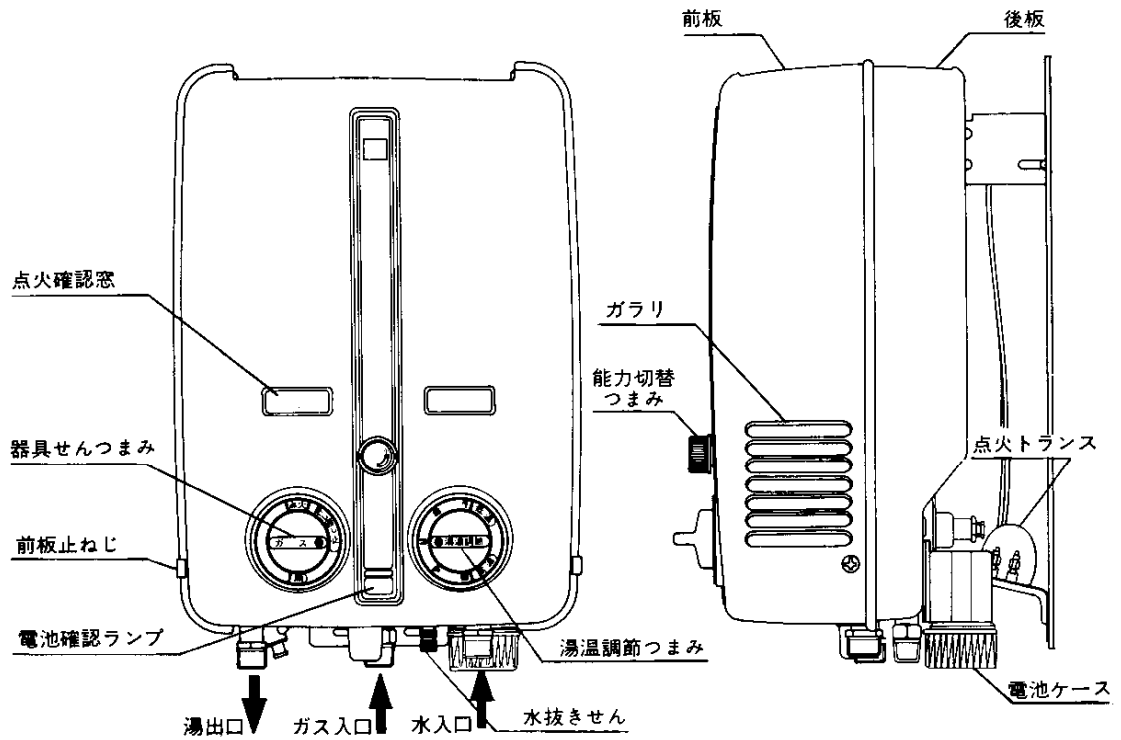
1. 日常の点検、お手入れは必ず行なってください。
 - 詳しくは7ページをお読みください。
2. 故障または、破損したと思われるものは、使用しないでください。不完全な修理は危険です。万一具合が悪くなって処置に困るような場合は、お買求めの大阪ガスサービスショップもしくは大阪ガス支社・サービスステーションにご相談ください。

■ 器具の設置について

1. 器具の設置はお買求めの大阪ガスサービスショップもしくは大阪ガス支社・サービスステーションに依頼し、安全な位置に正しく設置してご使用ください。
2. 正しく設置されているか確認してください。(詳しくは別冊の工事説明書をお読みください。)
3. 給湯配管は脱酸銅管をご使用ください。熱および水圧が加わりますので鉛管および塩化ビニール管は使用しないでください。

各部の名称

■外観・構造



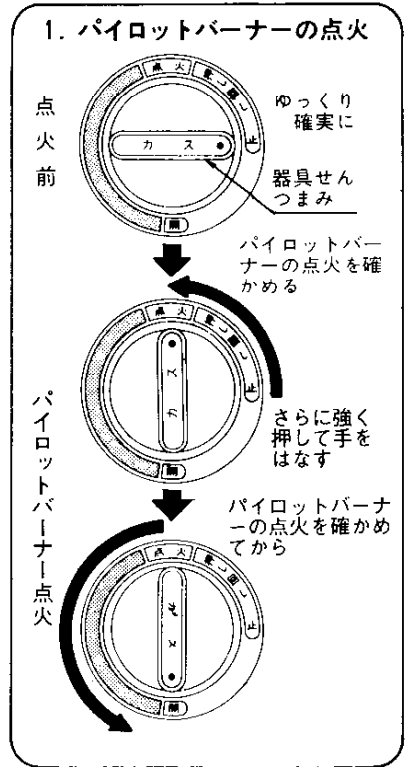
■使用方法

■ 点火前の準備と確認

1. 湯沸器へ給水し、給湯せんより水が出てくることを確認してください。
2. 器具せん「止」を確認し、ガス元せんを全開にしてください。

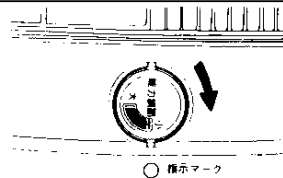
■ 点 火

1. 器具(ガス)せんつまみを押し、左方向に「点火」の位置までゆっくり回し、パイロットバーナーに点火したことを確認し、さらに強く押してから手を離してください。
(この湯沸器は押し回しするだけで点火できる「クイックセッター」タイプです。)
2. 器具(ガス)せんつまみから手を離れたとき、パイロットバーナーの火が消える場合、点火操作を繰り返してください。
※朝一番など時間を長くおいてご使用になるときパイロットバーナーに点火しなかったり、すぐ消えることがあります。これは器具の配管中に空気が残っているためです。器具せんつまみを「点火」の位置で押したままパイロットバーナーが点火するまで待ってください。
注) 器具せんつまみを「点火」の位置で押したまま、約8秒以上または連続して3回以上点火操作を繰り返してパイロットバーナーに点火しなかった場合は、器具せんつまみを「止」の位置で約10秒以上待った後、再度点火操作を繰り返してください。
3. 器具(ガス)せん全開
パイロットバーナーへの点火が確認できてから更に器具せん(ガス)つまみを左方向「開」になるまで押さないで回してください。



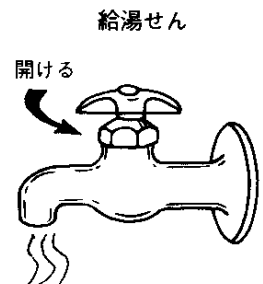
■ 能力切替

- 能力切替つまみを大の位置から小の位置に向かって右に回しますとガス量がしぼられて加熱能力が小さくなります。
(最大能力の7割まで可能です。)
- 季節に応じて適当な位置でお使いください。



■ 給 湯

1. 給湯せんを開けますと、自動的にメインバーナーに点火しお湯が出ます。
使い始めは給湯配管内の冷水を追い出すまで、しばらくお湯は出ません。
注) 給湯せんを極端に絞りますと、メインバーナーの炎が消えて水が出てきます。湯温調節は湯沸器本体の湯温調節つまみと能力切替つまみで操作してください。
2. パイロットバーナーに点火して、約10秒待ってから給湯せんを開けてください。
注) パイロットバーナーに点火して、すぐに給湯せんを開けますと、パイロットバーナーの炎が消えることがありますが、これは安全装置のためで、故障ではありません。(クイックセッター安全装置)

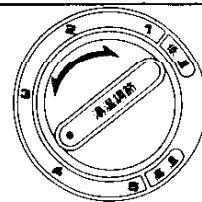


■湯温(湯量)調節

(1) 湯温(湯量)調節つまみ

お湯の温度は湯温(湯量)調節つまみを回して調節してください。

低温から高温まで自由に調節ができます。



■消火

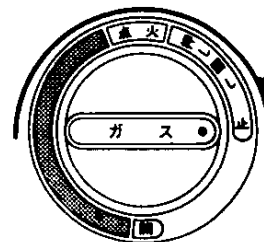
(1) 給湯せんをしめてください。(この時メインバーナーの火は消えますが、パイロットバーナーの火が残りますから、つぎにお使いになるときは、給湯せんを開くだけでメインバーナーに着火してお湯が出てきます)

(2) 器具せんつまみを「止」の位置までもどしますとパイロットバーナーが消えます。

注) 押さないで、そのままもどしてください。

●使い終わったあとは、パイロットバーナーを必ず消火する習慣をつけてください。

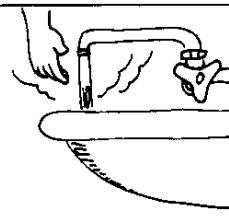
●おでかけになるとき、お寝み前には必ずガス元せん、給水元せんをしめてください。



■消火後の再点火

(1) あと沸きについて

断続してお使いになるとき、最初に出るお湯が特に熱くなっていることがあります。これをあと沸きといいます。少しお湯を出してから、手をふれるようにしてください。



■安全装置が作動したときの処置方法

■処置について

ご使用中に自動的に運転が止まったり、全部のバーナーが消火してしまったときは、次の方法並びに10ページの「故障、異常の見分け方と処置方法」により処置してください。

■パイロット安全装置

パイロットバーナーの炎が消えたときには安全装置が働いて自動的にガスが止まりますが、完全に止まるまで若干の時間がかかります(約1分)ので、パイロットバーナーの消火に気づいた時は、すぐガス元せんを「止」の位置に戻してください。再点火する時はすぐに点火をせず、しばらく待って(約1分)から行なってください。

注) 再点火する時、給湯せんをしめてから点火操作を行ってください。

■過熱防止装置(過熱防止温度ヒューズ)

ご使用中、湯沸器に異常がおき、湯沸器の熱交換器部が一定温度以上に達しますと自動的に安全装置が働き、ガス通路を閉じてメインバーナー、パイロットバーナーの炎を消します。このようなときは給湯せんを閉じ、湯沸器本体の器具せんつまみを「止」の位置に戻した後、お近くの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社・サービスステーションへご連絡ください。

□ 日常の点検、手入れ

■ 点検、手入れ際のご注意

- (1) 湯沸器を安全、快適にお使いいただくために、日頃の点検を習慣づけるようにしてください。
- (2) 手入れの前には必ずガス元せんを閉じてください。
- (3) 安全装置及びガスの通路部分は絶対に分解しないでください。

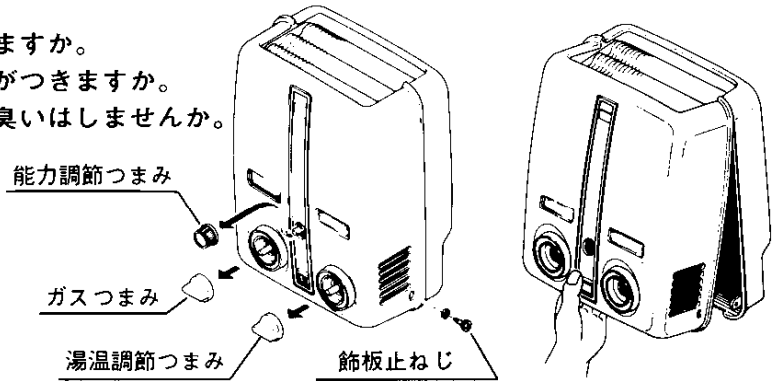
■ 点 検

湯沸器を安全、快適にまた上手にお使いいただくために、日頃の点検を習慣づけるようにしてください。

- 炎は正常ですか。
- パイロットバーナーが見えますか。
- メンバーナーは正常に火がつきますか。
- ガスの臭いや排気のいやな臭いはしませんか。

1. 前板のはずし方

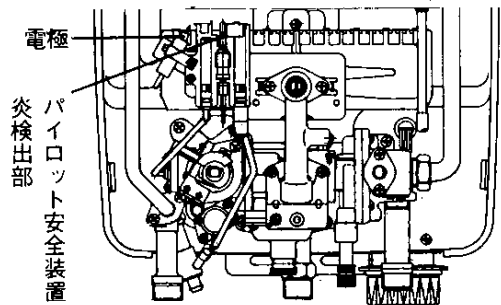
能力切替つまみ・器具せんつまみ・湯温（湯量）調節つまみを引き抜き、前板止めねじ（2本）をはずして、前板を手前に引くと、簡単にはずせます。



2. パイロットバーナーの点検と手入れ

- パイロットバーナーの炎がパイロット安全装置の炎検出部に当たっていなかったり、ススがついていたりすると安全装置が働きにくくなります。又メンバーナーに火移りするとき異常に大きな音がする場合は、パイロットバーナーの炎が小さくなっていますので、「きず」をつけないよう毛のブラシなどできれいにそうじしてください

電極のスパーク部も同様にそうじしてください。



■ お手入れ

1. 前板のお手入れ

前板の汚れは、やわらかい布に台所用中性洗剤をつけてふきとってください。

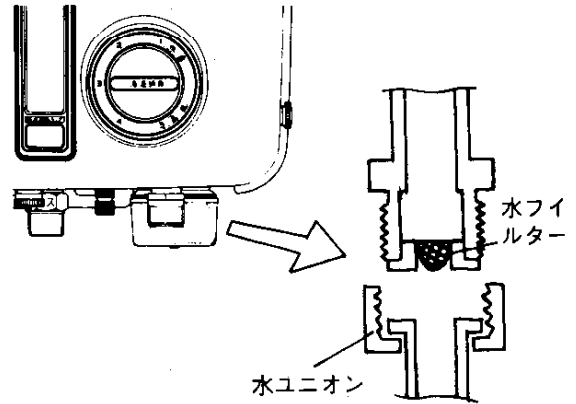
（表示板はふかないでください。印刷がはげてしまいます。）

金属たわし、スポンジたわし、みがき粉、シンナー、ベンジンなどを使用しますとキズがついたり、はげたりします。

2. 水フィルターのそうじ

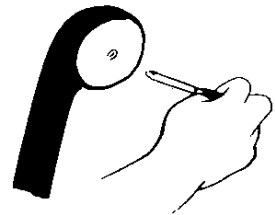
配管内のゴミや砂が水フィルターにたまり、お湯が出にくくなったり、点火しなくなることがあります。

- ① 給水元せんを閉めてください。
- ② 工具で水ユニオンをはずしてください。
- ③ 水フィルターを引きだして、そうじしてください。
- ④ 水フィルターを取付ける前に給水元せんを少し開け、配管内のゴミを流してから、水フィルターを取り付けてください。



3. シャワーヘッドのお手入れ

シャワーをお使いになっていて、お湯が出にくくなったり、メインバーナーの炎が消えたりするときは、シャワーの湯噴出部のキャップを取り外し、そうじしてください。



●できれば半年に一回は湯沸器正面の前板をはずして熱交換器の点検を行って、熱交換器にススなどが詰まっていないか、メインバーナーの燃焼面が詰まっていないかしらべてください。

もし熱交換器、メインバーナー燃焼面の詰まりがひどかったり、いつもと様子が変わっていれば、すぐ使用を中止してガスの元せんを閉じ、お近くの大阪ガスサービスショップもしくは大阪ガス支社・サービスステーションへご連絡ください。

■ 部品交換のしかた

1. 電池の取り替え

電池確認ランプが光らなくなった場合や、電池確認ランプが明るく光っていても電池を入れて3年以上経過した場合は新しい電池とお取り替えください。**単1 1.5V用**

- ① 電池ケースキャップをはずす。
- ② 中の乾電池を取り出し新しいものと入れ替える。

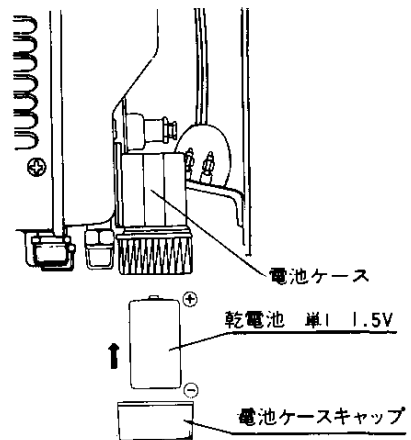
※方向性がありますのでご注意ください。

(上が⊕側、下が⊖側です)

- ③ 電池ケースキャップをいっぱいめにねじ込む。

(注意)長期間(約1ヶ月)点火操作をされない場合は、電池を電池ケースから抜いておいてください。

(電池の液もれによる器具の破損防止)



■冬期の凍結による湯沸器の破損防止について

冬の厳寒期には湯沸器内や給水・給湯配管の水が凍結し破損事故が起ることがありますので、庭のたまり水などが凍るおそれのある日は、給湯せんから水を流し放しにするなどの凍結防止処置をしてください。

●給湯せんからの水の流し方（一般的な凍結防止方法）

「この場合は単に器体だけでなく、給水管、バルブ類の凍結も防止できます。」

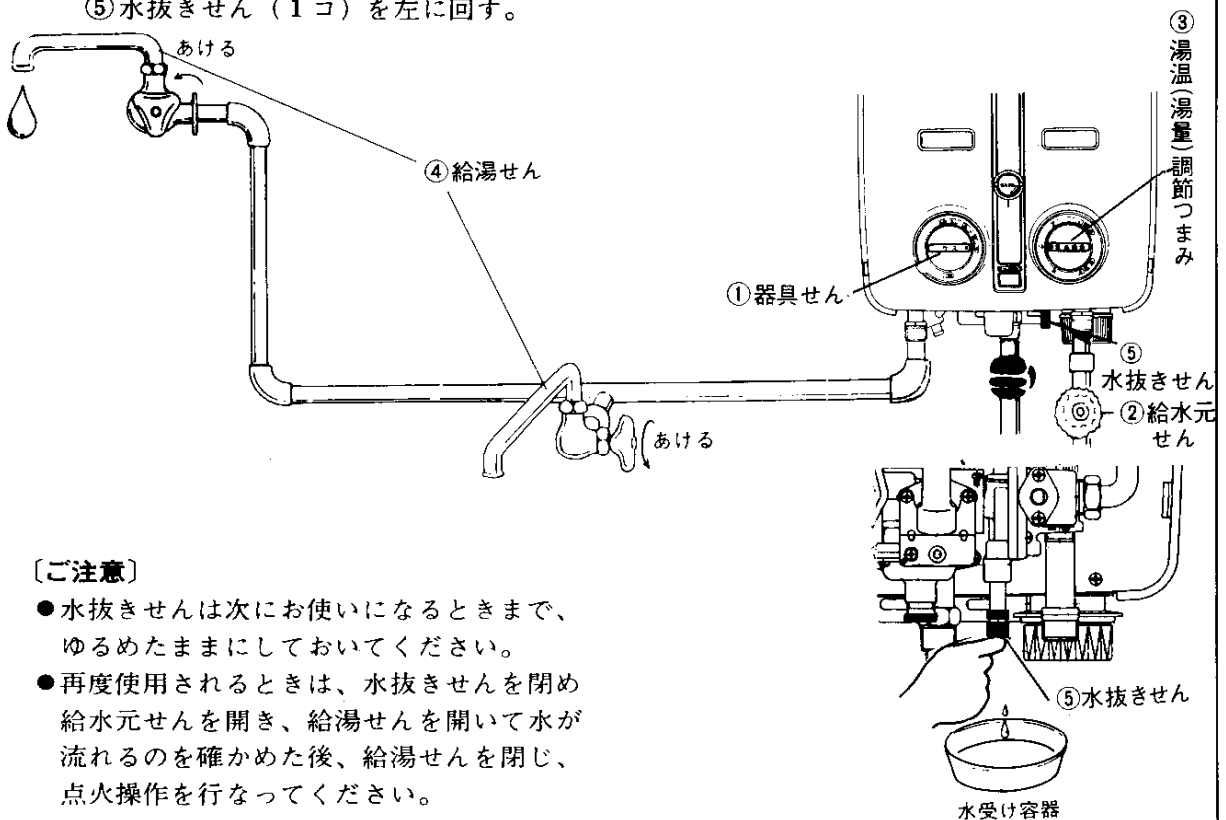
ガス元せん、器具せんを閉じ、湯沸器に火がつかないようにしてから、給湯せんより少量の水（1分間に牛乳びん1本程度、ただし寒さにより流量が異なりますので特に寒い日は多目に）を流し放しにしておいてください。また、念のため流量が不安定なことがありますので30分ぐらい後にもう一度流量をご確認ください。水を浴そうに流し込まれますと、一晩で浴そう半分から一ぱい程度になります。翌日雑用水としてご利用ください。

●器具の中の水を抜く方法（入居前や長期不在の場合、異常寒気の場合）

「この場合は給水部分の凍結防止はできません。」

次の手順で器具内の水を抜いてください。

- ① 器具せんつまみを「止」の位置にもどす。
- ② 給水元せんを閉める。
- ③ 湯温(湯量)調節つまみを「低温」方向に合す。
- ④ すべての給湯せんを開く。
- ⑤ 水抜きせん（1コ）を左に回す。



〔ご注意〕

- 水抜きせんは次にお使いになるときまで、ゆるめたままにしておいてください。
- 再度使用されるときは、水抜きせんを閉め給水元せんを開き、給湯せんを開いて水が流れるのを確かめた後、給湯せんを閉じ、点火操作を行なってください。

●凍結したときは

- ① 器具や配管が破損し、高額な修理費用がかかる場合があります。（有償）
- ② 凍結したまま使われますと、器具に異常が生じる場合があります。凍結が溶けた後、水もれがないのをご確認の上ご使用ください。

■故障・異常の見分け方と処置方法

ご使用中に、ふだんと違った状態になったときや不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、直ちにご使用を中止して十分な点検をお願いします。

■故障、異常の見分け方と処置について (○=主要原因、△=原因)

現象 原因	現象										処置方法	お客さま	♡			
	点火しにくい。	器具せんとつまみより手を放すと消火する。	着火(火移り)しにくい。	爆発的に着火する。	黄炎で燃える。	使用中に消火した。	高温の湯が出ない。	低温の湯が出ない。	着火しない。	「高温」では着火するが、「低温」では着火しない。				給湯せんと開いても着火しない。	使用中湯温が変動する。	おい。湯を止めても消火しない。
ガス元せんの開き不十分。	○	△	○	○		△	○							器具せんと一たん閉じてからガス元せんと全開にする。	○	
LPガスがなくなりかけている。	△	△	○	△		△	○				△			LPガスボンベ残量・LPガス販売店	○	○
配管内に空気が残っている。	○	△	△			△								ガスが正常に出るまで十分注意しながら使用	○	
ガス圧が適切でない。	低い	△	○	△		△	○			△				他の器具も同様の場合は点検依頼する。 (他に原因がないとき)		○
	高い	△	△		△	△		△								
給水元せんの開き不十分。			△	△		△		○	○	○				給湯せんと一たん閉じてから給水元せんと全開にする。	○	
水圧が適切でない。	低い		△	○		△		○	○	○	△			点検又は点検依頼する。 (他に原因がないとき)		○
	高い							△			△					○
水フィルターのつまり			△	△		△		○	○	△	△			つまり除去又は依頼をする。	○	○
断水している。						○				○				使用を一たん中止する。	○	
凍結している。										△	○			解凍するまで使用を中止する。	○	△
点火装置の電極部の汚れ	○													汚れを拭きとる。依頼する。	○	○
メインバーナー炎いづまり、空気いづまり			△	△	△	△	△							依頼をする。	○	○
乾電池が消耗している。	○													新品と交換する。	○	
熱交換器の目づまり。			△	△	○	△	△							依頼をする。	△	○
点火操作が適切でない。	○	△												「使用方法(点火)」参照	○	
器具せんとつまみ保持時間不足。		○												「使用方法(点火)」参照	○	
湯温(湯量)調節								○	○					「使用方法(湯温(湯量)調節)」参照	○	
給湯せんの開き不足			△					○	○					給湯せんと全開にする。	○	
パイロットノズルづまり	△	△	△			△				△				点検又は点検依頼する。 (他に原因がないとき)	○	○
パイロット安全装置が故障		○				△								点検を依頼する。 (度々作動する場合)		○
水ガバナーの故障							△	△	△	△	○	△		点検・修理・部品交換を依頼する。 (他に原因がないとき)		○
器具内のガス弁の故障										△		○				
過熱防止装置が作動した。		○				○										○
パイロット点火から給湯せんと開くまでの操作が早い。										○				「使用方法(給湯)」参照。	○	
クイックセッター回路の故障	△	○												点検を依頼する。		○

□長時間使用しない場合

1. ガス元せんをしめ湯沸器内の水抜きを行なってください。
水抜き方法については9ページの「冬期の凍結による湯沸器の破損防止について」の項をお読みください。
2. 電池を電池ケースから抜いておいてください。8ページの「部品交換のしかた」の項をお読みください。(電池の液もれによる器具の破損防止)

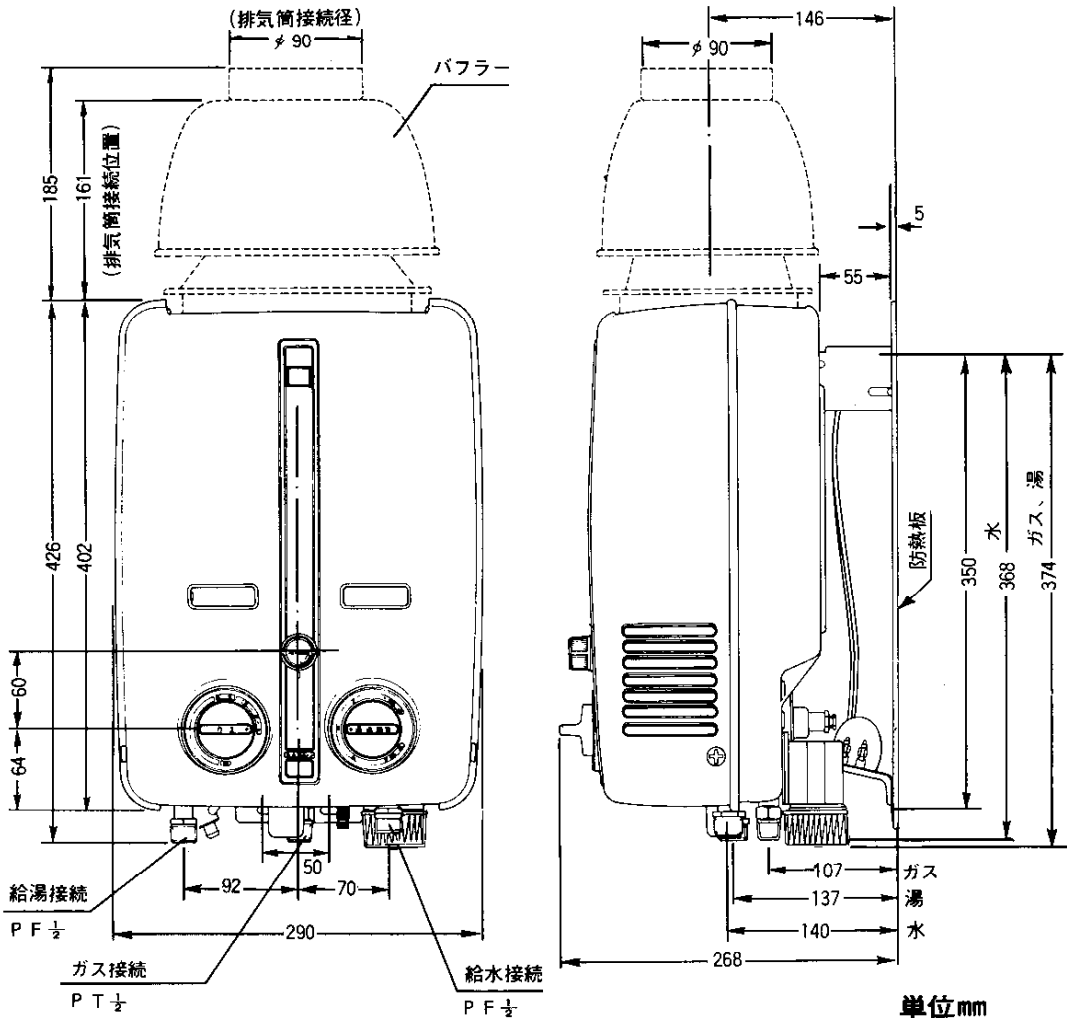
□仕 様

形式の呼び		33-801型	
種類	給(出)湯方式	先止め式	
点火方式		連続スパーク点火方式	
水圧	作動水圧	高温	0.35 kg/cm ²
		低温	0.40 kg/cm ²
外形寸法		高さ 426mm 幅 290mm 奥行 263mm	
重量(本体)		7 kg	
接続	給水	P F 1/2 B	
	給湯	P F 1/2 B	
安全装置		<ul style="list-style-type: none"> ●過圧逃し弁 ●パイロット安全装置 ●過熱防止温度ヒューズ ●クイックセッター安全装置 	
付属品		<ul style="list-style-type: none"> ●過圧逃し弁排水用ビニールチューブ ●湯沸器取付用木ねじ ●湯出口パッキン ●防熱板 	

使用ガスグループ	1時間当りの ガス消費量 kcal/h	出湯能力		ガス接続	
		上昇温度 ℓ/min			
		25℃	40℃		
都市ガス用	6 C	9,700	5.0	3.1	P T 1/2 Bガス管
	13 A	9,700	5.0	3.1	P T 1/2 Bガス管
	6 A	9,700	5.0	3.1	P T 1/2 Bガス管
L P ガス	0.77kg/h (9,600)	5.0	3.1	P T 1/2 Bガス管	

備考 出湯能力：給水圧力 1 kg/cm² ガス：JISに規定する標準ガス・標準圧力のとき。

■外形寸法図



■特 長

- ① コンパクトな2ヶ所給湯タイプです。ただし同時使用はできません。(夏場だけならシャワーにも使えます。)
- ② クイックセッター方式ですから、操作が容易です。
(点火の位置で待たなくても瞬時にガス通路が開きます。)
- ③ パイロット安全装置付きですので、万一パイロットバーナーが消えた場合、自動的にガスが遮断されて、生ガスの心配はありません。
- ④ 水温の高い夏場にも使用できるようにガス量の調節ができる能力切替タイプです。
- ⑤ 万一の異状過熱のとき、ガスを遮断する過熱防止温度ヒューズを取り付けています。
- ⑥ 蒸気や油煙のはいりにくい側面給気式です。
- ⑦ 湯沸器の使用時に換気扇を回すための換気扇連動スイッチ検出部機構を内蔵しています。
- ⑧ パイロットバーナーの点火は電池による連続スパーク方式ですから、点火ミスがありません。
- ⑨ 電池確認ランプの消滅により、電池の消耗をしらせません。
- ⑩ 白い粉が付着しにくいステンレス製熱交換器ですので長期にわたり安心してお使いいただけます。

□アフターサービス(維持管理について)

- 10ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」に示すような故障の症状があった場合、この取扱説明書をよくお読みのうえ、再度点検をしていただき、なお異常のあるときは保証書をお示しのうえ、お近くの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社・サービスステーションにお申し出ください。
- ご不審な点や故障のおきたとき、また部品については、お近くの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社・サービスステーションにお申し出ください。
- ご連絡いただくときは、器具の左側面に貼付してあるコード番号も合わせてお知らせください。

〔例〕

(4) 33-801(U)

大阪ガス株式会社

(N) 33-801(U)

大阪ガス株式会社

別添の保証書は大切に保存してください。

■転居される場合

ガスには15の種類があります。ご転居などによりガスの種類が変わったときには、お近くの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社・サービスステーションにご相談ください。この場合の改造に要する費用は、保証期間内でありましても有償です。

■定期点検のすすめ

毎日お使いいただいているガス器具も、安心して末永くお使いいただくためには、定期的な点検とお手入れが必要です。

一般家庭用では2～3年に一度、業務用など長時間ご使用になる場合は1年に一度程度、専門家による分解手れをお申し込みください。

お申し込み先……大阪ガスサービスショップ、サービスステーション、大阪ガス支社

◎上手に、長く、美しくお使いいただくためには、お手入れが大切です。習慣づけるようにしましょう。

■おねがい


ガスくさいときは、ガス元せんを閉め、お近くの大阪ガスサービスショップもしくは大阪ガス支社・サービスステーションにご連絡ください。

当社支社・サービスステーションの住所・電話番号は裏面に掲載しております。

本社・支社所在地および電話番号

本社ガスビル サービスセンター	大阪市東区平野町5丁目1	電話大阪06	(202) 2221	〒541
南支社	大阪市西成区玉出東2丁目9番41	電話大阪06	(652) 0001	〒557
北支社	大阪市北区神山町1番11号	電話大阪06	(313) 1241	〒530
堺支社	堺市住吉橋2丁2番19号	電話堺0722	(38) 1131	〒590
淀川支社	大阪市淀川区十三本町3丁目6番35号	電話大阪06	(301) 1251	〒532
阪神支社	西宮市和上町4番11号	電話西宮0798	(26) 3101	〒662
東部支社	東大阪市稲葉2丁目3番17号	電話河内0729	(62) 1131	〒578
京阪支社	枚方市西田宮町16番17号	電話枚方0720	(41) 1251	〒573
神戸支社	神戸市中央区相生町5丁目13番10号	電話神戸078	(576) 5231	〒650
京都支社	京都市中京区烏丸御池梅屋町358	電話京都075	(231) 8151	〒604
奈良支社	奈良市学園北2丁目4番1号	電話奈良0742	(44) 1111	〒631
和歌山支社	和歌山市本町1丁目1	電話和歌山0734	(31) 2481	〒640
姫路支社	姫路市神屋町4丁目8	電話姫路0792	(85) 2221	〒670
東播支社	加古川市加古川町栗津29-1	電話加古川0794	(21) 1801	〒675
豊岡支社	豊岡市三坂町6-57	電話豊岡07962	(3) 2221	〒668
湖南支社	草津市追分町字荒堀680の1	電話草津0775	(62) 5311	〒525
彦根支社	彦根市大東町9番41号	電話彦根0749	(22) 3131	〒522
長浜支社	長浜市南呉服町3番4号	電話長浜07496	(2) 7171	〒526

その他当社サービスステーションおよびサービスショップ

- ガス機器をご使用のときは、換気にご注意ください。
- お使いになったあとは、器具コックだけではなく鉄管先のもとコックもかならずしめましょう。
- ゴム管は、良質の大阪ガス製  マーク入りのものを、そしてコックについている赤線のところまで深くさしこみ、必ずゴム管止めでしめつけましょう。
- お使いにならない鉄管先のもとコックにはゴムキャップをかぶせておきましょう。

大阪ガス株式会社